

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 26 日 (2019.9.26)

【公開番号】特開 2018-116 (P2018-116A)

【公開日】平成 30 年 1 月 11 日 (2018.1.11)

【年通号数】公開・登録公報 2018-001

【出願番号】特願 2016-132224 (P2016-132224)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/68 (2018.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/68 Z N A Z

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 2 日 (2019.7.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アカマダラハタ、その卵又はそれらの加工品から抽出した DNA について、下記 (1) ～ (6) のいずれかの DNA マーカー座配列中の連続する少なくとも 18 個の塩基から成るオリゴヌクレオチドであって、そのマイクロサテライト配列を挟む 2 つの塩基配列のうち、一方の塩基配列から成るポリヌクレオチド、及び他方の塩基配列から成るオリゴヌクレオチドに相補的なオリゴヌクレオチド、又はこれらに相補的な配列の 2 つのオリゴヌクレオチドから成る PCR 用プライマーを用いて増幅したポリヌクレオチドから成る、成長性遺伝形質を有するアカマダラハタを識別するための遺伝マーカー。

(1) 連鎖群 12 上の DNA マーカー座 Ebr00010FRA (配列番号 1) (その 487～534 位がマイクロサテライト配列に相当する。)

(2) 連鎖群 12 上の DNA マーカー座 Ebr00935FRA (配列番号 2) (その 131～162 位がマイクロサテライト配列に相当する。)

(3) 連鎖群 21 上の DNA マーカー座 Ebr00846FRA (配列番号 3) (その 173～206 位がマイクロサテライト配列に相当する。)

(4) 連鎖群 21 上の DNA マーカー座 Ebr00924FRA (配列番号 4) (その 321～344 位がマイクロサテライト配列に相当する。)

(5) 連鎖群 21 上の DNA マーカー座 CfuSTR210 (配列番号 5) (その 106～127 位がマイクロサテライト配列に相当する。)

(6) 連鎖群 21 上の DNA マーカー座 Ebr01255FRA (配列番号 6) (その 113～136 位がマイクロサテライト配列に相当する。)

【請求項 2】

下記工程から成る成長性遺伝形質を有するアカマダラハタの識別方法。

1) アカマダラハタ、その卵又はそれらの加工品から抽出した DNA について、下記 (1) ～ (6) のいずれかの DNA マーカー座配列中の連続する少なくとも 18 個の塩基から成るオリゴヌクレオチドであって、そのマイクロサテライト配列を挟む 2 つの塩基配列のうち、一方の塩基配列から成るポリヌクレオチド、及び他方の塩基配列から成るオリゴヌクレオチドに相補的なオリゴヌクレオチド、又はこれらに相補的な配列の 2 つのオリゴヌクレオチドから成る PCR 用プライマーを用いて増幅したポリヌクレオチドから成る、成長性遺伝形質を有するアカマダラハタを識別する方法。

レオチドから成るPCR用プライマーを用いてポリヌクレオチドを増幅する工程、

(1)連鎖群12上のDNAマーカース座Ebr00010FRA(配列番号1)(その487～534位がマイクロサテライト配列に相当する。)

(2)連鎖群12上のDNAマーカース座Ebr00935FRA(配列番号2)(その131～162位がマイクロサテライト配列に相当する。)

(3)連鎖群21上のDNAマーカース座Ebr00846FRA(配列番号3)(その173～206位がマイクロサテライト配列に相当する。)

(4)連鎖群21上のDNAマーカース座Ebr00924FRA(配列番号4)(その321～344位がマイクロサテライト配列に相当する。)

(5)連鎖群21上のDNAマーカース座CfuSTR210(配列番号5)(その106～127位がマイクロサテライト配列に相当する。)

(6)連鎖群21上のDNAマーカース座Ebr01255FRA(配列番号6)(その113～136位がマイクロサテライト配列に相当する。)

2)別途継代飼育の結果、成長性遺伝形質を有すると認められる系統のアカマダラハタについて、上記1)と同じ工程を実施する工程、及び

3)1)と2)の工程で増幅したポリヌクレオチドが一致する場合に、アカマダラハタが成長性遺伝形質を有すると識別する工程

【請求項3】

工程3)において、比較するポリヌクレオチドのサイズが一致する場合に、アカマダラハタが成長性遺伝形質を有すると識別する請求項2に記載の方法。

【請求項4】

アカマダラハタが成長性遺伝形質を有するか否かを識別するための診断キットであって、下記(1)～(6)のいずれかのDNAマーカース座配列中の連続する少なくとも18個の塩基から成るオリゴヌクレオチドであって、そのマイクロサテライト配列を挟む2つの塩基配列のうち、一方の塩基配列から成るポリヌクレオチド、及び他方の塩基配列から成るオリゴヌクレオチドに相補的なオリゴヌクレオチド、又はこれらに相補的な配列の2つのオリゴヌクレオチドから成るPCR用プライマーを含むキット。

(1)連鎖群12上のDNAマーカース座Ebr00010FRA(配列番号1)(その487～534位がマイクロサテライト配列に相当する。)

(2)連鎖群12上のDNAマーカース座Ebr00935FRA(配列番号2)(その131～162位がマイクロサテライト配列に相当する。)

(3)連鎖群21上のDNAマーカース座Ebr00846FRA(配列番号3)(その173～206位がマイクロサテライト配列に相当する。)

(4)連鎖群21上のDNAマーカース座Ebr00924FRA(配列番号4)(その321～344位がマイクロサテライト配列に相当する。)

(5)連鎖群21上のDNAマーカース座CfuSTR210(配列番号5)(その106～127位がマイクロサテライト配列に相当する。)

(6)連鎖群21上のDNAマーカース座Ebr01255FRA(配列番号6)(その113～136位がマイクロサテライト配列に相当する。)